

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

午後五時の時報聞こゆる春の夕蓬摘む手に未だ日の差す
 老人カー押し行く吾にっこりと男児がひとり挨拶くるる
 雨やみて島影近く白々と阿久根の町は夕日に映ゆる
 風邪ひきて熱に臥したる三日ほど庭の草花開き初めたり
 やうやくに開き初めたる紫陽花が亡夫が植へし木々と繁れる
 艶やかに太りて黒き貝嬢し娘の縁を思ひいたたく

坂之下典子
 中山タマエ
 浜田美代子
 松元睦子
 岩下ち江
 米尾和子

一般作品

小浜川カッパ伝説川なれどアオサこさいだアワビのカラで
 故郷の想いが巡る琵琶見れば金丹色のまぶしく丸し
 亡き兄と待ち合わせたインターは変わることなく車は走る
 息をのむ幾百千の藤の花真空妙有の世界が薫る
 間違うと後悔しても間に合ぬ取り直し出来ぬ固る何だよ
 服装は・身長は・と間延びして聞こえく無縁せつなき夕べ
 犬のジロ十六年を共にして別れのつらさ知る人ぞ知る
 ひしくいの鳴きてナダリ明けゆくよ

小林 貢
 小林如月
 中飯屋辰子
 後藤ヨシエ
 町田末則
 母木良平
 川島輝文
 宗方正喜

長島の

歌人集まる

広場あり

明神俳句会

出ては入る軒の昏さや燕の巢
 送も迎も大橋渡る四月かな
 退院の子を待つ明かり春の暮
 キッチンカー花の余白に来て止まる
 制服は少し大きめ四月来る
 父の忌や燕何度も翻り

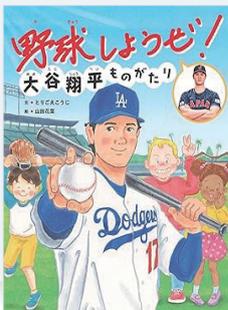
淵 脇 護
 二階堂妙子
 白男川孝仁
 追口君代
 山寄加代子
 大堂早苗

燕の子空の広さをまだ知らず
 春景の海峡に映ゆ旅客船
 花便り駅のポストで投函す
 齢九十疲れ知らずの花衣
 啓蟄や老婆も元気で外に出る

大堂正弘
 関喜久雄
 関佳代美
 坂口静子
 二階堂恵子

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介



野球しようぜ!

文/とりごえこうじ

幼少期から今に至るまでの軌跡をたどる絵本です。



やまの動物病院②
とらまる、山へいく

ながわちひろ/作

山の動物たちのお医者さんのとらまる。
ある晩、山へ往診にいけますが…

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-5651

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1121